

【緊急レポート】新型肺炎とその影響 ⑬

参考・出典：日本経済新聞より

■ WHO事務局長、新型コロナ「パンデミック」と表明

- ・世界保健機関(WHO)のテドロス事務局長は11日、世界で感染が広がる新型コロナウイルスを「パンデミック(世界的な大流行)とみなせる」と表明。感染者数は110カ国強で12万人を超え、事実上、封じ込めに失敗した。WHOが想定する以上に感染スピードが速く、対応は後手に回った。
- ・WHOがパンデミックと認定したのは2009年に流行した新型インフルエンザ以来11年ぶり。中国以外での感染ペースが加速する現状に強い懸念を示し、各国に対策の強化を促した
- ・新型コロナは19年12月に中国湖北省武漢市で初めて感染が確認され、中国を中心に急速に広がった。WHOは1月30日に「国際的に懸念される公衆衛生の緊急事態」と宣言。その約1カ月後の2月28日には、世界全体の危険度を4段階で最高レベルの「非常に高い」に引き上げた
- ・パンデミックと表明した根拠について、患者数や対象国が急激に広がっていること、今後もウイルスの感染拡大が確実視されることを挙げた。一部の国の対応は不十分とも強調
- ・当初、中国以外の感染者の割合は全体の約1%だったが、現在は3割以上に上昇している。1万2千人を超えたイタリアが最も多く、イラン、韓国が続く。最近ではフランスやスペイン、米国など欧米での増加が顕著。衛生が悪く医療態勢が不十分なアフリカの途上国でも患者が増えており、WHOは危機感を募らせている
- ・未知のウイルスは人々の暮らしや企業活動に影を落とし、世界経済への深刻な打撃が懸念されている。各国で渡航制限やイベントの中止や延期が相次ぎ、金融市場の波乱も続く。WHOがパンデミックと表明したことで、さらに厳しい対策を取る国が増えることも予想され、国際通貨基金(IMF)は20年の世界経済の成長率が19年の2.9%を大きく下回り、金融危機直後の09年以来、11年ぶりの低成長になる可能性を示す。

北海道	118(7)	滋賀県	1(0)
青森県	-(0)	京都府	15(2)
岩手県	-(0)	大阪府	80(7)
宮城県	1(0)	兵庫県	31(7)
秋田県	2(0)	奈良県	8(1)
山形県	-(0)	和歌山県	14(0)
福島県	1(0)	鳥取県	-(0)
茨城県	-(0)	島根県	-(0)
栃木県	2(0)	岡山県	-(0)
群馬県	1(0)	広島県	1(0)
埼玉県	14(2)	山口県	3(0)
千葉県	28(2)	徳島県	1(0)
東京都	72(6)	香川県	-(0)
神奈川県	44(3)	愛媛県	2(0)
新潟県	11(0)	高知県	12(0)
富山県	-(0)	福岡県	3(0)
石川県	7(0)	佐賀県	-(0)
福井県	-(0)	長崎県	-(0)
山梨県	2(0)	熊本県	6(0)
長野県	3(0)	大分県	1(0)
岐阜県	2(0)	宮崎県	1(0)
静岡県	2(0)	鹿児島県	-(0)
愛知県	104(5)	沖縄県	3(0)
三重県	2(0)		

(3月11日午後10時現在確認分)

